

筑波大学菅平高原実験センター 利用報告書

平成 29 年 2 月 28 日

貴センターを利用して行った実習・セミナーが終了しましたので報告します。

実習名 (セミナー名)	生態学実験					
利用 期間	自 平成 28 年 9 月 20 日 ~ 至 平成 28 年 9 月 22 日					
	区 分	教 員	大学院生	学部学生	その他	備 考
利用者	人 数	1	2	18		
うち 受講者	人 数			16		

1. 実習・セミナーの内容について、簡潔にお書きください。

生態学実験として、3日間の実習を行った。
1日目：センター内の遷移段階の異なる林分に、マレーゼトラップ、ピットフォールトラップを設置した。
2日目：根子岳に登り、標高ごとに樹木、草本の種数を調査した。
3日目：1日目に設置したトラップを回収し、得られた昆虫を同定した。これらの結果を下に、生物多様性の違いをもたらす要因を検討した。

2. 成果をお書きください。（可能であれば写真なども該当シートに添付してください。）

学部2，3年生16名が実習に参加し、森林の遷移、標高、さらに土地利用にともなう、生物多様性の変化について考えた。今年度は例年より少し時期が遅く、採集された生物が少なかったが、特異な形態をした「ミカドシリブトガガンボ」の幼虫の同定で、みんなで盛り上がるなど、楽しい実習ができた。
根子岳登山の日は、天気も良く、景色を楽しみながら実習を行うことができた。
レポートの出来はまちまちだが、中には力作もあり、生態学における「データ解析」を実感できたものと感じている。

3. 当センターをご利用いただいた感想、ご要望などご自由にお書きください。

毎年、快適に利用させていただいています。ありがとうございます。
食事について、ホイル包みをオープンで温めること、考えればわかることですが、後で思いつきました。来年度は温かくいただけそうです。

4. 当センターは、「教育共同利用拠点」としての実習等の利用状況・概要をホームページ等で公開しています。上記1、2、3で非公開を希望される内容がありましたらお知らせください。

担当教員 村上正志

所 属 千葉大学理学部

職 名 准教授